

平成21年度 「診療所薬剤部門の現状調査」

平成21年6月 社団法人 日本病院薬剤師会 診療所委員会

ラベル貼付予定

施設名

所属

記入者氏名

I. 経営主体分類

1	国(厚生労働省、その他の機関)
2	公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
3	社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会健康保険組合およびその連合会、共済組合およびその連合会、国民健康保険組合)
4	医療法人
5	学校法人
6	その他法人(独立行政法人、国立大学法人、公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社)
7	個人
8	その他(上記以外)

II. 施設機能分類

1	無 床		
2	有 床 (許可病床数 床)	一 般	床
		療 養	床
		その他	床
3	その他()		

III. 対象患者

1	一般(患者を全く特定しない)
2	特定の患者(従業員とその家族のみ等)
3	特定患者が主だが、一般患者も受け入れている
4	その他()

※ 調査項目がグレー■に塗りつぶしてある箇所は、有床診療所のみご記入ください。

IV. 一般調査

1	薬剤部門職員数	薬剤師	常勤 人 非常勤 人 (このうち他部門への出向者 人)
		その他	事務職員:常勤 人 非常勤 人 休暇時の薬剤師の補充 (あり なし)
2	平均外来患者数	人/日(6月平均)	
	外来処方せん(院内)	枚/日(6月平均)	
3	院外処方せん	院外処方せん発行	1:実施 枚/日(6月平均) 2:未実施
		院外処方せん鑑査	1:実施 2:未実施
4	注射薬処方せん	1:実施 枚/日(6月平均) 2:未実施	
5	夜間・休日体制	1:日直 2:ON CALL 3:なし 4:その他()	
6	健康診断について	健康診断	1:健康診断(特定保健診査を含む)に薬剤師が、関与している (具体例 使用医薬品・検査薬の管理供給・アレルギー歴の確認・副作用の説明等への関与など) 具体的な内容
		特定保健指導	1:特定保健指導に薬剤師が、関与している (具体例 禁煙指導・栄養指導(初回を除く)など) 具体的な内容
7	ニコチン依存症管理 (禁煙指導)について	実施状況	1:服薬指導の中で、禁煙を勧めている。 2:禁煙指導は実施している。 3:禁煙補助薬の服薬指導を実施している。 2:呼気COの測定をしている。 3:ニコチン依存に関する教育をしている。
		禁煙補助薬処方件数	1: 枚/月(6月合計) 2:なし
		医療保険 訪問薬剤管理指導	1:実施 請求件数 件 患者数 人 (6月合計) 2:未実施
9	介護保険 居宅療養管理指導(薬剤師が行なう場合)	1:実施 請求件数 件 患者数 人 (6月合計)	
		2:未実施	
10	外来化学療法加算請求件数	外来化学療法加算1(500点)	1:実施 請求件数 件(6月合計) 2:未実施
		外来化学療法加算2(390点)	1:実施 請求件数 件(6月合計) 2:未実施
11	褥瘡ケアの薬学的管理	1:あり 2:なし	
12	外来患者服薬相談コーナー(室)	1:あり 2:なし	
13	薬剤情報提供料	1:実施 請求件数 件(6月合計) 2:未実施	
14	お薬手帳	1:患者全員に交付している 2:一部患者(希望者、後期高齢者等)に交付している 3:交付していない	
15	製剤実施状況	1:実施 (1)無菌製剤(1:実施 2:未実施) (2)一般製剤(1:実施 2:未実施)	
		2:未実施	
16	注射剤混合業務	(1)無菌製剤処理(中心静脈)	1:実施 件(6月合計) 2:未実施
		(2)無菌製剤処理(悪性腫瘍)	1:実施 件(6月合計) 2:未実施
		(3)無菌製剤処理(免疫不全等)	1:実施 件(6月合計) 2:未実施
		一般注射剤の混合	1:実施(全科) 2:実施(一部) 3:未実施
17	PETの保有と薬剤師の関与	1:保有 薬剤師の関与 1:あり 2:なし	
		2:なし	
18	治験審査委員会への関与	1:あり 2:なし	
19	治験協力者としての関与	1:あり 2:なし	
20	治験薬の保管・管理への関与	1:あり 品目(6月合計) 2:なし	
21	医療安全対策への関与	1:あり(A 委員会への関与 B 医療安全管理指針の整備に関与 C 医療安全管理者として関与) 2:なし	
22	医薬品安全管理責任者	1:薬剤師 2:医師 3:看護師 4:診療所の管理者 5:その他()	
	※ 1:薬剤師 以外とした場合の関与	A 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関与 B その他() C なし	
23	院内感染防止対策への関与	1:あり(A 委員会への関与 B その他) 2:なし	
24	医薬品情報管理室	1:あり 2:なし	
25	オーダーリングシステムの導入	1:あり 2:導入予定あり 3:なし	
26	電子カルテの導入	1:あり 2:導入予定あり 3:なし	
27	インターネット接続	1:薬剤部門内で接続可能	
		2:薬剤部門以外の場所で接続可能()	
		3:その他()	
		4:接続できない	

28	薬剤師採用時の応募状況	平成20年度採用	募集人数	人	応募人数	人
		平成20年度途中採用	募集人数	人	応募人数	人
29	疑義照会件数	(1)内用・外用	入院	件/月 (6月合計)	外来(院内)	件/月 (6月合計)
		(2)注射	入院	件/月 (6月合計)	外来	件/月 (6月合計)
30	薬歴の作成	1:入院処方について作成している。	1:外来処方について作成している。			
		2:外来処方について作成している。	2:ハイリスク薬など一部の外来処方についてのみ作成している。			
		3:ハイリスク薬など一部の処方についてのみ作成している。				
31	持参薬の管理 (持参薬をチェックし、医師等に情報提供し共有している)	1:すべての入院患者に対して実施している。	1:すべての外来患者に対して実施している。			
		2:すべての外来患者に対して実施している。	2:一部の外来患者について実施している。			
		3:一部の患者について実施している。				
32	処方鑑査	情報源(複数回答可)	1:薬歴			
			2:お薬手帳			
			3:カルテ			
			4:看護記録			
			5:患者本人			
			6:家族(主たる介護者)			
			7:その他 ()			
	情報の参照項目(複数回答可)	1:病名				
		2:検査値等の臨床所見				
		3:主訴				
		4:バイタルサイン				
		5:既往歴				
		6:その他 ()				
		(A) 鑑査の結果処方変更になった件数	件/月(6月合計)			
		(B) (A)のうち、副作用の重篤化を回避した件数	件/月(6月合計)	その際の情報参照項目()		
33	医薬品情報の収集・解析・評価・提供	1:製造販売後安全情報(厚生労働省・製薬企業等)、文献情報等に基づき、施設内の情報伝達の徹底を検討する院内組織がある		(A)はい	(B)いいえ	
		2:院内情報伝達について	(A):処方患者を特定して処方医に絞って情報提供をする。			
			(B):(A)に加えて、薬剤師が副作用の発現の有無を医師と協力して確認している			
		(C):その他				
34	医薬品の採用	1:新薬の採用は、薬剤師が評価作成した資料に基づき院内採用薬の審査をしている		(A)はい	(B)いいえ	
		2:上記審査において薬物療法の安全のために、使用制限等を設けた例がありますか	(A)新規採用薬	品目/年	(B)使用期限を設けた医薬品	品目/年
35	後発医薬品の採用状況	採用割合	(品目数)	(A)内用薬(%)	(B)外用薬(%)	(C)注射薬(%)
			(数量)	(A)内用薬(%)	(B)外用薬(%)	(C)注射薬(%)
36	薬業連携について	1:病院・保険薬局へ患者情報の提供している		1:あり	2:なし	
		2:病院・保険薬局に新規採用薬などの業務連携に必要な情報提供している		1:あり	2:なし	
		3:病院・保険薬局からの後発医薬品の処方変更情報を医師に提供している		1:あり	2:なし	
		4:病院・保険薬局からの情報を薬剤師が確認し、必要な情報を提供している		1:あり	2:なし	
37	今後について	1:貴施設でこれから取り組みたい業務は				
		2:そのためには、何が必要だと思いますか				
38	診療報酬改定の希望					
39	委員会への要望事項					

※欄が不足する場合は、別紙に記載してください。

有床診療所のみご記入ください。

40	平均在院患者数(老健施設は除く)	人/日(6月平均)			
	A)一般病床	人/日(6月平均)			
	B)療養病床	人/日(6月平均)			
	C)その他()	人/日(6月平均)			
41	入院処方せん	枚/日(6月平均)			
42	薬剤管理指導の施設基準に係る届出	1:届け出ている		1:優先する業務が別にあるため実施できない。	
		2:届け出していない			2:施設基準を満たしていない
					3:実施したいが人手がない
					4:その他()
43	薬剤管理指導料 設問10で、「1.届け出ている」とした場合のみ回答	薬剤管理指導料1 (430点)	1:実施 請求件数	件(6月合計)	2:未実施
		薬剤管理指導料2 (380点)	1:実施 請求件数	件(6月合計)	2:未実施
		薬剤管理指導料3 (325点)	1:実施 請求件数	件(6月合計)	2:未実施
44	後期高齢者退院時薬剤情報提供料(100点)	1:実施 請求件数	件(6月合計)	2:未実施	

V. 薬剤師の新しい業務展開

45	重篤な副作用回避、適切な処方設計するための情報収集	医師の同意に基づいて薬剤師が、添付文書の使用上の注意事項などを考慮し、副作用予測又は回避に必要なフィジカルアセスメントを実施している	(1)はい (2)いいえ
46	処方せんの作成、処方設計	医師の同意に基づいて薬剤師が、慢性期に移行し、症状が安定している外来患者について、検査データ、副作用症状の有無等薬物療法中の患者情報を踏まえ、過去の処方歴を基に処方入力している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、入院患者の検査データ、バイタルサイン、自覚症状など薬物療法中の患者情報を踏まえ、苦痛等の症状改善のための臨時処方を行っている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、医師が指定した慢性期の患者については、定期処方をD ₀ 処方している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、入院患者の処方スケジュールを確認し、定時処方切れなどの投与日数の調整のための臨時処方せんに処方している	(1)はい (2)いいえ
		医師からの処方に関する問い合わせに対して、薬剤師が適切な処方提案をしている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、処方薬の剤形(散薬・錠剤・一包化等)変更を処方している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、保険薬局で後発医薬品に変更した処方薬を診療録に反映させるための診療録へ代行入力している	(1)はい (2)いいえ
47	注射薬	医師の同意に基づいて薬剤師が、処方せんにより混合調製した点滴薬剤等のセッティングをしている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、注射剤の投与直後から患者の副作用症状、バイタルサイン等を経過観察している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、特定薬剤治療管理料で決められている薬剤(抗菌薬・ジゴキシン・抗てんかん剤等)の血中濃度の測定をオーダーしている	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、薬物療法中の状態を定期的にモニタリングし、処方変更、投与量の変更、投薬・注射の中止を提案している	(1)はい (2)いいえ
48	配薬	薬剤師が、患者に処方された内服薬について、施用ごとに配薬を行い飲み忘れ、飲み間違いを防止しコンプライアンスを高めている	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、患者に処方された薬のうち、ハイリスク薬については、コンプライアンス管理を実施している	(1)はい (2)いいえ
49	検査オーダー	医師の同意に基づいて薬剤師が、添付文書に記載されている検査について、検査オーダーしている	(1)はい (2)いいえ
50	手術室、ICU	手術室、ICUの設備が診療所にあり、稼働している (1)はい と回答した場合に、以下の質問に回答してください。	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、手術室において、手術に使用した薬剤(麻薬、吸入麻酔薬、麻酔薬、筋弛緩剤等)の管理、確認等を行い、確認後システムに入力している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、持参薬について手術前に中止する必要がある薬(ワーファリン等)をチェックし、処方削除のオーダー入力している	(1)はい (2)いいえ
51	がん化学療法	がん化学療法の機能が診療所にあり、稼働している (1)はい と回答した場合に、以下の質問に回答してください。	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、治療法決定後のインフォームドコンセントに同席しがん化学療法に使用する薬の作用、副作用、治療費の自己負担額等について患者に説明している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、がん患者に対するがん化学療法のレジメンが決定した後、制吐剤・ステロイドなどの副作用抑制剤の選択や投与スケジュールを医師に提案している	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、がん化学療法のエビデンス等を収集し、レジメンの作成を検討する委員会において適切なレジメン作成の提案をしている	(1)はい (2)いいえ
52	褥瘡対策	医師の同意に基づいて薬剤師が、褥瘡の創を観察し、病態を把握するとともに創面の水分量を測定し、創の病態に適した基剤を考慮した外用薬を選択(処方)している	(1)はい (2)いいえ
53	持参薬	医師の同意に基づいて薬剤師が、すべての入院患者の持参薬をチェックし、医師の診断結果および検査値等をふまえて患者の病態に適した入院中の服薬計画書の作成を行っている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、すべての外来初診時の持参薬をチェックし、医師の診断結果および検査値等をふまえて患者の病態に適した入院中の服薬計画書の作成を行っている	(1)はい (2)いいえ
54	感染症対策	医師の同意に基づいて薬剤師が、個々の症例に対し、起炎菌の同定、薬剤感受性の確認、TDMの解析、体内動態などエビデンスに基づいて適切な抗菌薬を処方している	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、臨床分離株の薬剤感受性等について調査・解析し、患者毎に適切な抗菌薬を提案している	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、O157、SARSなどの新たな感染症が発生したときの治療薬、感染対策等の情報を収集し、またその対策を行っている	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、抗菌薬の血中濃度と臨床成績から有効性を得るためのPK/PDパラメータを算出し処方提案をしている	(1)はい (2)いいえ
55	抗菌化学療法	薬剤師が抗菌化学療法について、抗菌薬の選択・投与量コンサルト等の処方設計を行っている	(1)はい (2)いいえ
56	糖尿病	薬剤師が、合併症のチェックをしている(末梢循環のチェック、足肺動脈のチェックなど)	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、糖尿病教室で、インスリンや糖尿病用薬について説明し投与・服薬指導をしている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、インスリン注射施行中の患者の腹部等施行部位を観察したり、触ったりし脂肪の肥厚の有無を確認し注射薬の投与指導をしている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、生活習慣(食事の時間、間食の時間、内容、就寝時間、運動量など)、処方薬の服用施設法、コンプライアンスの問題点、在宅での問題点などを聴取し、医師に収集した情報をフィードバックしている	(1)はい (2)いいえ
		医師の同意に基づいて薬剤師が、患者に自己血糖測定の手技を指導し、医師と共に患者へ血糖と生活習慣の問題点を探し出し指導している	(1)はい (2)いいえ
57	喘息管理	薬剤師が、吸入ステロイド薬の吸入方法やピークフローメータの使用法について指導をしている。	(1)はい (2)いいえ
		薬剤師が、喘息患者のコンプライアンス管理を実施している	(1)はい (2)いいえ
58	薬薬連携	薬剤師が、患者の退院時(転院時)情報提供として、「薬剤管理サマリー」の作成を実施している	(1)はい (2)いいえ

59	その他	従来は、医師が行っていた業務について、薬剤師が薬学的知識に基づいて直接行っている業務があれば具体的に記入してください。
----	-----	---